

town

小さな拠点づくり

Creating a small base



私たちの町をご紹介します



大田市

井田地区

(井田地域自治会)

子どもからお年寄りまで 健康で楽しく住み続けられるふるさと井田

大田市温泉津町の中心地から約10キロ離れた山間部に位置する井田地区。四季折々に見られる花々や満天の星空、季節になると飛び交うホタルの群れなど、美しい自然が広がる地域で、自然環境を生かしたお米やメロン栽培、繁殖和牛といった農畜産業が盛んです。

7月に行われる井田まちづくりセンターの清掃・草刈り作業には、毎年約150人が集まります。センターは旧井田小学校の建物を利用しているため、校舎の周りや校内の清掃など大変な作業ですが、久しぶりに会う住民間の近況報告や小学校での思い出話など、子どもからお年寄りまで楽しく参加できる地区の一大イベントとなっています。

夏祭りや運動会、産業文化祭といった地域行事のために帰郷する人も多く、住民同士の協調性や団結力が、井田地区の最大の強みであり、自慢でもあります。



小さな拠点づくりとは？

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのため知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな
拠点
づくり

idea

小さな拠点づくり

Creating a small base

私たちの アイデア

大田市

井田地区

(井田地域自治会)



地域の素材を活かした 「井田屋焼肉のたれ・ 地元の竹細工」

まちのひとの声



地域の素材を活かした特産品づくりに参加して、自分の作った商品の評判がいいと、もっといいものを作りたいというやる気が湧いてきます。仲間と一緒に作業するのも楽しいです。

目標

地区内でも過疎化は進んでおり、関係人口をつくることによって、少しでも人口を増やし、楽しいまちづくりをしたいと考えています。そのためにも地域のいいところをアピールし、ターン希望者を受け入れる体制を整えていく方針です。

また、今後は柚子などの地元の野菜等の商品化も模索中。都会ではできないさまざまなことに、今後も取り組んでいきたいと考えています。

活動内容

井田地区内の和牛繁殖農家の女性のみで組織された「和牛婦人会」で作られる焼肉のたれを、特産品として販売。石見銀山味噌をベースにした味わいには定評があり、道の駅などで販売されています。また、地元の竹を使った花籠などの竹製品を作成し販売しています。週に一度行われる竹製品づくりでは毎回7~8人の参加者が集まります。これらの特産品を作ることで高齢者が元気になり、売り上げを通して持続可能な集落にしていきたいと考えています。

きっかけ

2014年に開催されたワークショップでは、今後の井田地区についての意見交換会が行われ、まずは井田の特産品をつくらうという結論になりました。その後、地域運営組織の法人化の検討がなされ、2022年に企業組合「井田屋」が創設され、地区の「和牛婦人会」が制作していたオリジナルの焼肉のたれを特産品として販売をスタート。これをきっかけに、その後も地元の特性を活かした取り組みが行われています。



小さな拠点づくりとは？

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのため知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな
拠点
づくり

idea

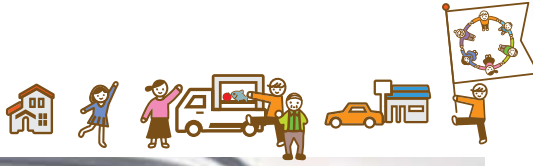
小さな拠点づくり

Creating a small base

大田市

井田地区

(井田地域自治会)



私たちの
アイデア

「いきいきタクシー」
お出かけをもっと楽しく



目 標

活動内容

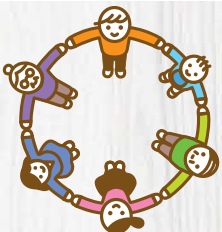
きっかけ

地区内でも過疎化は進んでおり、関係人口をつくることによって、少しでも人口を増やし、楽しいまちづくりをしたいと考えています。そのためにも地域のいいところをアピールし、ターン希望者を受け入れる体制を整えていく方針です。

また、今後は柚子などの地元の野菜等の商品化も模索中。都会ではできないさまざまなことに、今後も取り組んでいきたいと考えています。

大田市温泉津町のタクシー会社が行っていた「いきいきタクシー」事業を引き継ぎ、住民の生活をサポートしています。登録制で平日のみ利用可能。地区内であれば乗り降り自由で、今後もより多くの方の利用を目指しています。地域外への送迎は最寄り駅やスーパー、銀行、温泉津温泉などに利用されています。そのほか地域内では、サロンや各教室、食堂などへの移動、積雪の際には生徒たちの通学などにも活用されています。

2014年に開催されたワークショップでは、今後の井田地区についての意見交換会が行われ、まずは井田の特産品をつくらうという結論になりました。その後、地域運営組織の法人化の検討がなされ、2022年に企業組合「井田屋」が創設され、地区の「和牛婦人会」が制作していたオリジナルの焼肉のタレの特産品として販売をスタート。これをきっかけに、その後も地元の特性を活かした取り組みが行われています。



小さな拠点づくりとは？

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのため知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな
拠点
づくり